

平成 27 年 7 月 24 日（金）

本校が昨年に引き続き、文部科学省から平成 27 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の指定を受けました。全国の高等学校で唯一の指定校となります。

文部科学省へのリンクはこちら

平成 27 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の採択先について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1360241.htm

【職域プロジェクトB(観光分野)】「グローバル社会の観光人材育成プロジェクト」

～地域の魅力をグローバルに発信できる人材の育成～ (石川県立金沢商業高等学校)

課題・ニーズ・背景・目的

☆ニーズ・背景

○3月の北陸新幹線開業後、予想以上に観光客数が増加した。この追い風を利用して県や市町においてリピータの増加に向けた取り組みが行われている。観光客の増加に伴い、地域の観光の振興に貢献できるホスピタリティを持った人材の育成が急務である。

○外国人をはじめとする様々な観光客の満足度を高めるために外国語でのコミュニケーションスキルが求められる。

○東南アジアへ進出していく企業ニーズに応えるため、グローバルビジネスコミュニケーションスキルを持った人材、海外取引の知識をもった人材の育成が求められている。

☆26年度に実施した取組と27年度実施事業との関連性

①ツーリズム(旅行業)に関する企画力・コミュニケーションスキルの強化

- ・実践事例を蓄積し、手順等のマニュアル化を行い、他校が活用できる汎用性を高める。
- ・テマセクポリテクニク(シンガポール)との観光を起点とした交流基盤を有効に活用し観光教育(特に授業)に基盤をおいた専門性の高い交流を目指す。

②グローバルなコミュニケーションスキルの強化

- ・国際交流広場(グローバル・コネクト・ビレッジ)を開設し、生徒が、外国人とコミュニケーションできる環境整備を行う。
- ・今年度もシンガポールやハワイの高校生との現地での交流やインターネットを通じた交流を深め、外国語によるコミュニケーション能力の向上に努める。
- ・海外ビジネスに向け、TOEICスコア向上に取り組みを継続したい。

③国内外における商品開発の企画力と販売力の強化

- ・海外向けに開発したオリジナル商品の販売を行う。既に様々な障壁が持ち上がっているが、それを克服する方策も考えていく。

④グローバルな視点での資格取得の研究

- ・前年度の成果(合格者)の継続を目指す。検定の有効性と発展性について検証し、カリキュラムに導入する取捨選択について考察する。

⑤長期型企業実習(デュアルシステム)モデルの調査・開発および実践

- ・学校の授業と連携した10日間の長期型実習(2年選択希望者)をホテル等で実施し、その有効性の向上について実習先とともに考え、改善する。

⑥旅行客の動向調査及び観光関連企業(観光地・旅館ホテル・販売業等)の動向調査

- ・前年度、生徒が実施した観光客の動向調査及び、金沢市内のホテル旅館の利用客数、おみやげ販売店などの売上高について、継続して動向を調査し、新幹線開業前後の変化を研究・分析する。

⑦成果発表会や報告書の配布による事業成果の普及

- ・県内外の関係者や観光を学ぶ高等学校等を招き、それぞれの学習成果を発表し、共有するシンポジウムとする。

平成27年度の具体的な取組内容

①企画・検討

- ・事業実行委員会において事業運営の概要検討、総合的評価と検証
- ・運営委員会、ユニット長会議で運営計画及び調整、カリキュラムの検討

②調査

- ・海外でのテストマーケティング、日本の先進校視察、生徒へのPROG調査、企業・旅行客に対する調査、高等教育機関及び高等学校への調査

③観光人材育成プログラム

- ・長期型企業実習(デュアルシステム)モデルプログラムの開発
- ・海外での旅行商品開発の実施
- ・国内外の旅行商品に関する研究・開発とツアーの実践
- ・長期型企業実習(デュアルシステム)の実施
- ・観光商品の開発につながるフィールドワークの実施

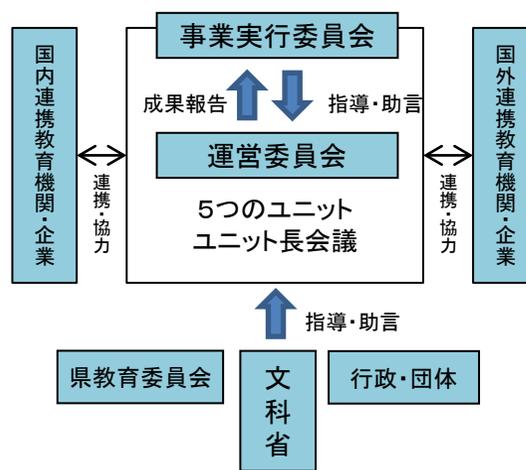
④グローバル人材育成プログラムの開発

- ・国内・外での外国語を中心としたコミュニケーションスキルの強化
- ・海外でのプレゼンテーションの実施
- ・国際会計の研究、海外取引に伴う諸問題の解決策の研究

⑤高度な資格に関するカリキュラムの標準化

- ・高度な資格取得の研究、教育課程へのフィードバック

実施体制イメージ図



参加・協力機関

①教育機関

- 国内
石川県立金沢商業高等学校
金沢大学、金沢星稜大学、北陸大学、
立教大学、横浜商科大学、北陸学院短期
大学、金沢観光専門学校、京都IT会計法
律専門学校、輪島高校、七尾東雲高校、
小松商業高校
国外
テマセクポリテクニク(シンガポール)、
マッキンリー高校(ハワイ州)

②産業界

- 北國銀行、PFU、コマツ、金沢都ホテル、
加賀屋、トップツアー、カタニ産業、北陸化
成、洋菓子ポストン、北國文化センター

③行政機関

- 石川県教育委員会
石川県産業政策課、石川県国際交流課、
石川県観光振興課、文部科学省

【職域プロジェクトB(観光分野)】「グローバル社会の観光人材育成プロジェクト」

～地域の魅力をグローバルに発信できる人材の育成～ (石川県立金沢商業高等学校)

成果目標(アウトカム)

- (1) グローバル観光人材育成カリキュラムの開発
(ツーリズム関係科目の選択者の増加25名以上)
- (2) グローバル観光人材の育成につながる資格取得の検証と教材の開発(旅行業務取扱管理者受験者数の増加10名以上)
- (3) 海外の高校との交流を通じた人材育成の進展と検証(海外語学研修参加者の増加35名以上)
- (4) 実践的な観光業の体験による人材育成の検証、実施マニュアルの作成(ツアー実施数の増加5校)
- (5) デュアルシステム等の実践を通じた人材育成プログラムの開発(観光関連企業の受け入れ数増加5社)
- (6) 地域の観光資源や観光産業を発掘し、紹介(修学旅行生受け入れ数の増加10校)
- (7) 観光産業への理解の深まりとグローバル観光人材の創出(旅行会社および観光系大学への進学者の増加)
- (8) 観光教育に関する学習や活動の共有と進展(高大連携校の増5校以上)
- (9) グローバル観光人材を育成するプログラムの検証と改善(教育課程の一部変更による観光選択者の増加)

活動指標(アウトプット)

- (1) グローバル観光人材を育成するカリキュラム(教育課程)の調査・研究(5つの強化ユニット)
- (2) グローバル観光人材の育成につながる資格取得の研究(5つの強化ユニットによる資格取得の研究)
・総合旅行業務取扱管理者試験(ツーリズム)[生徒15名]、TOEIC(外国語)[生徒15名]、BATIC[国際会計](会計)[生徒25名]など
- (3) 海外の提携校での授業参加(双方向)[海外より45名、教師3名]、[本校より生徒16名、教師4名]、海外の姉妹校との語学交流
- (4) 地域を紹介する高校生ガイドツアーの実施[生徒36名]及びパンフレット等[1000部]の作成
- (5) 学校の授業と企業の実習を関連付けた、デュアルシステムによる企業実習の実施(生徒14名)
- (6) 地域の観光業の振興に関する調査研究[約100社及び観光客約350名を対象]・北陸新幹線の開業事前事後のアンケート調査と分析 など
- (7) 報告書による事業成果の周知、関係教材等の開発、実習実施マニュアルの作成[200部]
- (8) 観光教育シンポジウムの開催[県外観光教育実施校から10名及び本校生徒830名を対象]
- (9) 評価についての調査研究(PROGの活用[観光選択者30名]、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価[シンガポール研修参加者を含む約45名で実施])

平成27年度の成果の活用

- ①観光人材育成の取組事例を本校および商業(ビジネス)教育を学ぶ高等学校で活用(県内高等学校60校、県外商業および観光を学ぶ高等学校50校へ事業報告書を郵送配布、一部HPでの公開)
- ②デュアルシステムモデルについては、本県及び全国の専門高校にモデルプランとして提示(①と同様)
- ③商品開発については、前年度から継続した研究として積み上げ、海外の学校との商品開発につなげる(旅行商品については、お互いに行き来する関係を継続して構築。商品については海外提携校の売店で販売し、HPで公開)
- ④本県での産業教育フェア(全国プレ大会)での成果発表(平成27年度)
- ⑤全国産業教育フェア石川大会での成果の発表(平成28年度)
※ 平成28年度に本県において全国産業教育フェアが開催される

【職域プロジェクトB(観光分野)】「グローバル社会の観光人材育成プロジェクト」

～地域の魅力をグローバルに発信できる人材の育成～ (石川県立金沢商業高等学校)

計画	26年度	27年度	28年度
<p>①海外を意識した基本的なコミュニケーションスキルの向上等に関する研究(外国語・検定等)</p> <p>②海外の専門高校や高等教育機関、観光を学ぶ高校等のカリキュラム編成の研究</p> <p>③高等学校における観光に関するカリキュラム・シラバス等の研究と教材開発</p> <p>④企業とのデュアルシステムによる長期型実習の研究とカリキュラムへの導入</p> <p>⑤高大連携によるカリキュラムの研究</p> <p>⑥高等学校におけるグローバル観光人材の育成に関するカリキュラムの研究の完成と全国への提示</p>			
<p>それぞれの年度における成果</p>	<p>【研究基盤の確立と基本的な調査・研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外の専門高校(テマセクポリテクニク)との観光に関する交流基盤の確立 観光を学ぶ大学生とのフィールドワーク実施 TOEICスコアの向上、総合旅行業務などの海外のビジネスで役立つ資格の取得 海外での石川の紹介とインバウンド向け旅行商品の研究 10日間の長期型実習を先行実施 県外修学旅行生誘致、高校生ガイドの実施 石川県産業教育フェアで市内観光を実施 旅行者及び観光関連企業に対し新幹線開業前に調査を実施 県内外の関係者や観光を学ぶ高等学校等を招き、成果報告会と研究協議会を開催 専門学校でのシンポジウムでの成果発表 	<p>【研究の継続と発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> シンガポールとの交流による研究の進展 高校生ガイド(海外の旅客を含む)の充実 デュアルシステムの本格的な研究 企画観光ツアーの実施と改善 海外を意識した総合旅行業務取扱管理者試験等の検定試験への取組の継続、発展、教材の開発 前年度収集した、国内外の専門高校及び高等教育機関のカリキュラムを分析し観光人材育成カリキュラムについて考察・検証する 5つの学習ユニットの活動を通じた強化活動の進展 県外の観光を学ぶ学校を招き、環境教育シンポジウムを実施 活用力など測りがたい力の評価方法の研究(PROGテスト、パフォーマンス評価) 	<p>【3年間の研究の集大成】</p> <p>【1年目、2年目から更に継続・発展させた取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光人材育成カリキュラムによる教育課程の作成及び実施 全国の高校への事業成果(観光カリキュラム等)の普及 平成28年の全国産業教育フェア石川大会においてその最終形の発表を目指す

「グローバル社会の観光人材育成プロジェクト」
～地域の魅力をグローバルに発信できる人材の育成～

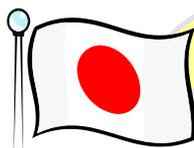


観光人材育成 モデルカリキュラム	1年次(H26年度)	2年次(H27年度)	3年次(H28年度)	概要・成果
カリキュラム開発	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション英語Ⅰ 簿記 情報処理 <p>先進校の視察と交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション英語Ⅱ マーケティング 観光実務Ⅰ キャリアワーク等 <p>共同研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> アクティブイングリッシュ 課題研究 商品開発 電子商取引 観光実務Ⅱ等 	観光人材を育成する効果的なカリキュラム開発
高度な資格取得	<ul style="list-style-type: none"> 簿記2級 情報処理2級 実用英検2～3級 <p>外部講師の活用 金沢大学、北陸大学、コマツ、北國銀行等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国内旅行業務取扱管理者 簿記1級 情報処理1級 実用英検1～2級 <p>高度資格の上級生による先行研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合旅行業務取扱管理者 貿易実務 BATIC(国際会計検定) TOEIC等 	観光人材の基礎を構成する国際的なビジネス資格の取得
学校外での学習 (大学や企業、 海外の高校との連携)	<ul style="list-style-type: none"> 海外研修(シンガポール) 共同研究を促すプレゼンの実施 交流の提携 <p>テマセクポリテクニク</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光分野での交流 <p>交流・研究の継続と発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光商品の開発 モデルツアーの実施 (日本→東南アジア) <p>(東南アジア→日本)</p>	グローバルな視点での観光学の研究と実践
企業での実習	<ul style="list-style-type: none"> フィールドワーク 観光資源の開拓 <p>星稜大学等</p>	<ul style="list-style-type: none"> デュアルシステムによる長期型企業実習の実施 <p>加賀屋・金沢都ホテル JTB・トップツアー等</p>	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな環境での企業実習の実施 <p>国内外のホテル系企業 シンガポールの日系企業等</p>	学校の授業と関連づけた実体験による人材育成
調査研究・報告	<ul style="list-style-type: none"> ICTによる情報発信 報告書の作成と報告会の実施 その他観光に関する調査 	<p>上級生による先行実施</p> <p>調査・研究情報発信の継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調査データの分析と活用 <p>※全国産フェアでの発表</p>	事業に関する情報発信と報告

グローバル社会の観光人材育成プロジェクト ～地域の魅力をグローバルに発信できる人材の育成～



北陸新幹線



共同研究



小松空港



石川の観光と伝統産業を海外へ発信



海外の学校との連携
シンガポールポリテクニク
ハワイマッキンリー高校

大学・専門学校との連携

- 大学
- ・金沢
 - ・金沢星稜
 - ・北陸
 - ・立教
 - ・横浜商科
- 短期大学
- ・北陸学院
- 専門学校
- ・京都IT会計法律
 - ・金沢観光 等



海外のビジネス系学校や海外進出企業との連携



5つの強化ユニットによる観光人材育成の研究

国際的な観光人材の育成

広義の観光

企業との連携

- 日本
- ・金沢都ホテル
 - ・加賀屋
 - ・トップツアー
 - ・コマツ
- シンガポール
- ・北國銀行
 - ・PFU
 - ・カタニ産業 等

Marketing (海外ビジネス)
Entrepreneurship (起業家精神)

伝統産業の支援による商品開発
海外企業での研修と商品の販売

Tourism
(旅行)

国際的な旅行企画の実施

総合旅行業務取扱管理者の取得

Accounting
(会計)

国際会計に関する大学との事例研究
国際商取引に伴う会計処理の実践研究

国際会計検定
(BATIC)の取得

国際情報検定
CompTIAの研究

Language
(外国語)

グローバルビジネスでの英会話学習
海外での語学研修

TOEICの受験

Computing
(情報活用技術)

海外との電子商取引
海外でのプレゼンテーション

国・県・市からの支援

- ・文部科学省
- ・県教育委員会
- ・県商工労働部
- ・県観光戦略推進部

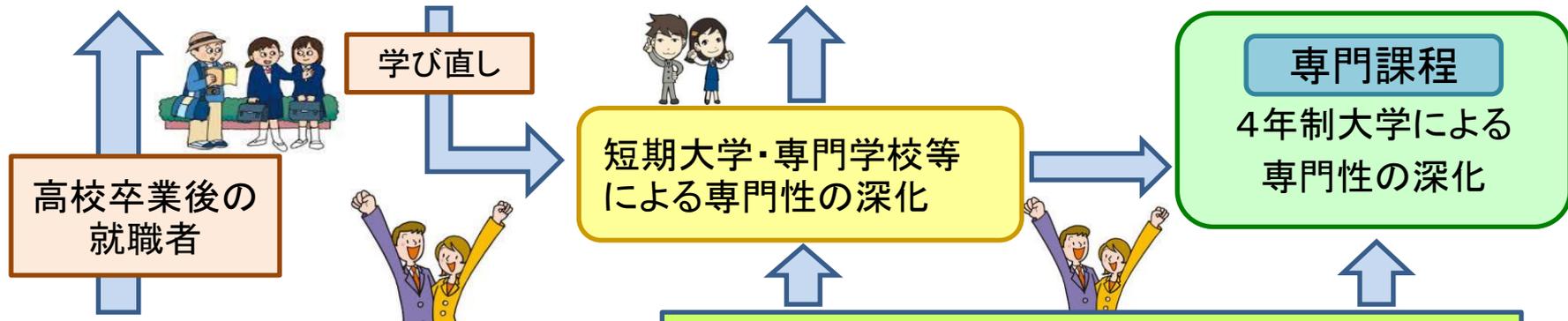
国内の高等学校との連携

- ・輪島
- ・七尾東雲
- ・小松商業
- 他 県外高校

金商ライフサポート株式会社(模擬)【国際部】による海外ビジネスへの挑戦

グローバル化する広義の観光業に対応できる観光人材

- ・海外との取引を含むアントレプレナーシップ(起業家精神)を持つ人材
- ・商業の知識やマナーを身につけたホスピタリティの心を持つ人材
- ・英語をツールとしてコミュニケーションをはかることができる国際感覚のある人材



高大連携カリキュラム
(各種の講座、合同フィールドワーク、各種の調査等)

高等学校(専門教育)における観光人材育成カリキュラム

卒業後社会に出る生徒に対するカリキュラム

- ・即戦力となる実務能力の強化
2～3年
- ・デュアルシステムによる実習
2年

卒業後専門学校等を経て社会に出る生徒に対するカリキュラム

- ・専門分野における上級資格取得
2～3年
- ・基礎的なビジネススキル
2年

卒業後4年制大学を経て社会に出る生徒に対するカリキュラム

- ・上級資格取得を活かした進学
3年
- ・英語力を活かした進学
3年

ふるさと石川の魅力を発信できるコミュニケーション能力

2年 観光基礎 + 英会話 + プレゼン力 + ホスピタリティ + 企画力

企業等との連携

1年～ 商業の基礎と資格取得(簿記・情報・マーケティング等) + 基礎科目:国語・英語